

事務事業名		社会体育施設修繕事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課	
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》		所属G	社会教育G	課長名	奥井 雅司	
	施策名	(30)生涯スポーツの振興		担当者名	原田 憲一	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2243	
	目的:対象	市民	意図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しみ、スポーツや運動を楽しみ、支える。				
	基本事業名	(088)スポーツ環境の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的:対象	市民	意図	スポーツ活動に親しむ。				中事業	中事業名
					015001		体育施設管理事業	
					301028		社会体育施設修繕事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R1 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市内社会体育施設の修繕。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
	①調査 ②協議 ③積算業務 ④発注業務 ⑤完了確認		①調査 ②協議 ③積算業務 ④発注業務 ⑤完了確認			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 修繕	件	—	—	48	48
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
	市民		ア 人口	人	37,794	37,012	36,248	37,004
			イ					
			ウ					
	② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
	スポーツ環境を整えることにより、スポーツや運動を安全に行うことができる。	ア 雲南市のスポーツ環境が整っていると感じる市民の割合	%	41	50	46.3	46.3	
		イ						
		ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
修繕費 11,328千円 主な修理項目 大東公園体育館身障者用トイレ出入口・カーテン改修工事、三刀屋文化体育館アスバル配水用ポンプ更新、エレベーター昇降機基盤取替、アリーナ水銀照明修繕、停電時自動着床装置バッテリー取替、加茂B&G野球場ナイター照明ランプ交換、斐伊体育館ステージ幕修理など	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円			11,328	5,500
	事業費計 (A)	千円			11,328	5,500
	人件費	人			1	
	正規職員従事人数	人			1	
	延べ業務時間	時間			200	
	人件費計 (B)	千円			848	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			12,176	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
各施設ごとの修繕費目を一つの事業に集約し、より効率的に執行することとした。	社会体育施設の整備から年数が経過し全体的な視野で計画的修繕を行う必要が生じてきた。	市民や利用者、施設管理者から施設の修繕要望がある。ニーズや規模、予算の大小等様々な要望がある。

事務事業名	社会体育施設修繕事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由																	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →																		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →																		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設の老朽化により市民や利用者、施設管理者から施設の修繕要望がある。計画的に修繕等対応することで、市民が安全で安心して利用でき、スポーツ環境が整っていると感じる市民の割合に結びつく。																	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	スポーツ環境が損なわれる。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																			
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由	社会体育施設の修繕を一つの事業に統合したために対応が図られている。																	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	対象となる社会体育施設も多く、突発的な修繕対応もあり事業費の削減は困難である。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																			
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	最低限の人員であり、また施設の老朽化に伴い、対応業務も増加しており削減余地はない。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市民を対象としており、公平・公正である。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市民や利用者、施設管理者から施設の修繕要望があり、ニーズや規模、予算の大小等様々である。優先順位をつけながら対応をしている。																
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	●																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	
優先順により修繕に着手しているが突発的な案件が生じている。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		

3 今後の方向性【PLAN】